

2018年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年11月1日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2017年11月1日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2018年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- II .2018年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2018年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





2018年3月期第2四半期 連結決算ハイライト

2018年3月期第2四半期(2017/7-9) 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、前四半期末比4,444口座増加と堅調に増加。預り証拠金は、金融法人からの預りは微減したものの一般顧客からの預りが増加し、全体では4.3%の増加。

総口座数	306,001口座	2018/3期1Q末比	1.5%増
預り証拠金	64,734百万円	2018/3期1Q末比	4.3%増

- ② 外国為替取引高は、前四半期に引き続き外国為替相場の変動率は低迷したもののスプレッド縮小等の顧客取引促進の効果により大きく増加し、前四半期比59.9%増加。

7-9月取引高	3,488億通貨単位	2017/4-6月比	59.9%増
---------	------------	------------	--------

※取引高にはCFDに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高の増加に伴いトレーディング損益が前四半期比7.2%増加し、システム子会社による売上高等の減少があったものの、全体では前四半期比1.8%増加の1,433百万円に。

- ④ 損益は、営業収益の増加に加え、システム関連売上の原価をはじめ費用が減少したことから前四半期比回復し、経常利益は前四半期比86.7%増加の215百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前四半期比93.4%増加の143百万円に。



2018年3月期第2四半期 決算概況と影響ファクター

	2018/3期 1Q 【2017/4 ~ 2017/6】	2018/3期 2Q 【2017/7 ~ 2017/9】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,181億通貨単位	3,488億通貨単位	59.9%
営業収益	1,407百万円	1,433百万円	1.8%
純営業収益	1,283百万円	1,374百万円	7.1%
経常利益	115百万円	215百万円	86.7%

【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高 

FX収益性 

その他の売上高 

販管費 

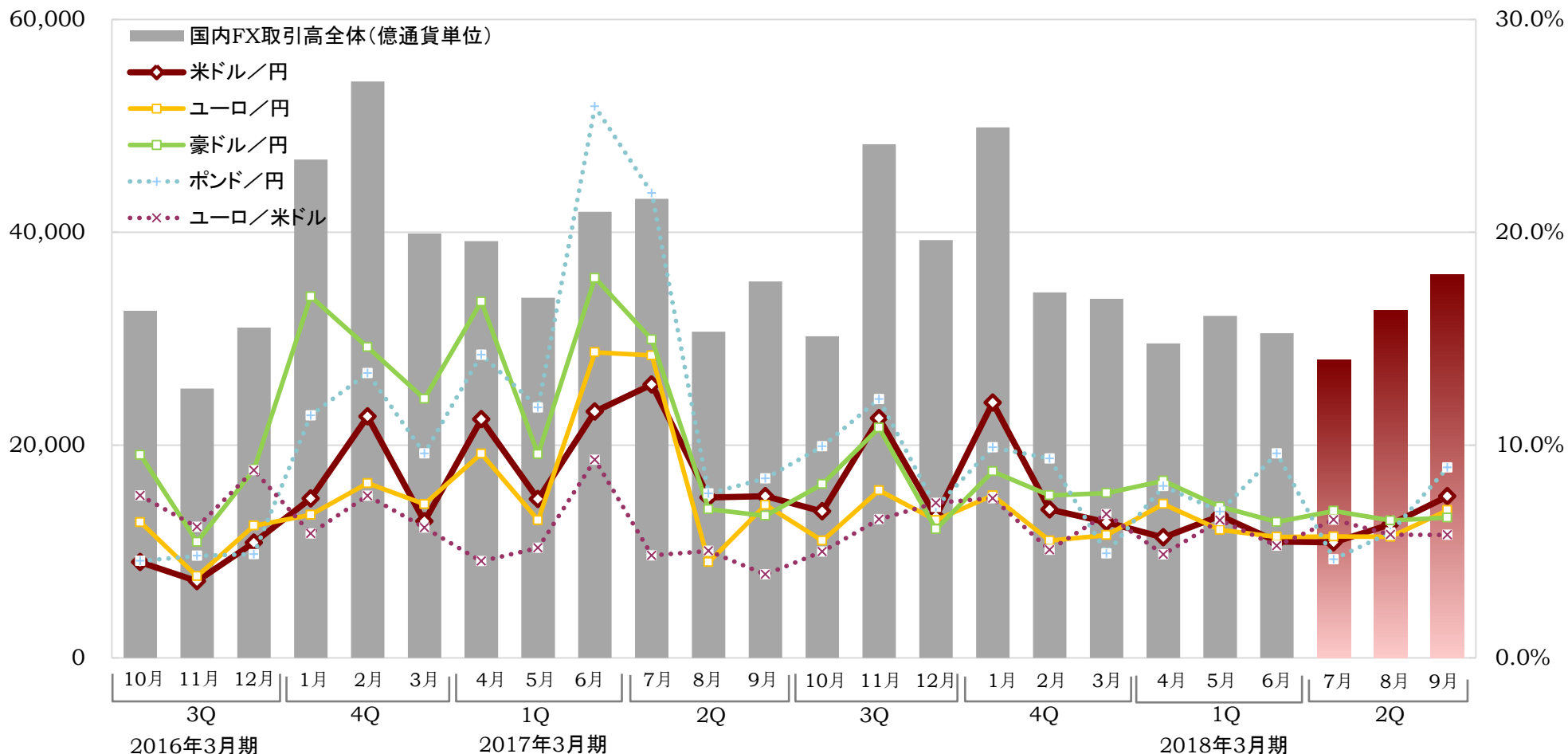
- 米ドル／円がレンジ相場で推移するなど前四半期に引き続き変動率は低迷。しかしながら、スプレッド縮小の効果等もあり、各通貨ペア取引高は大きく増加し、全体の取引高は前四半期比59.9%増加。通貨別の内訳は、米ドル／円が前四半期比やや減少ながらも68%を占める結果に。
- スプレッド縮小により取引高当たりの収益性は総じて低下。しかし、取引高増加により、収益の絶対額は増加し、トレーディング損益は前四半期比7.2%増加。
- 前四半期に好調であったシステム子会社のグループ外向け売上高は反動減。ただし、これに伴う売上原価の減少もあり、純営業収益への影響は限定的。
- 取引高増加に伴う変動費の増加はあったものの、広告宣伝費や固定費が減少し販管費全体は前四半期比0.6%減少とほぼ横這いに。



FX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



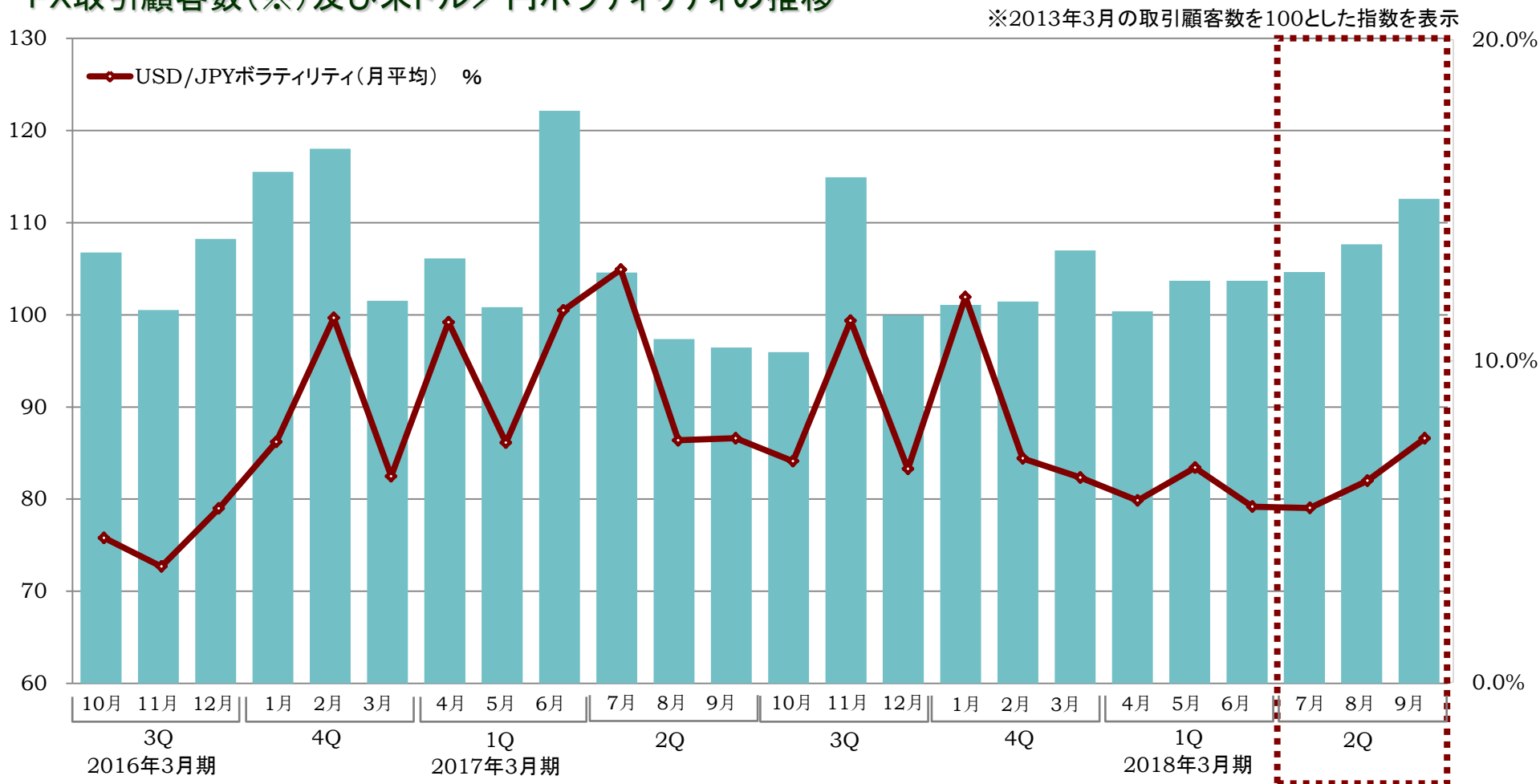
外国為替相場の変動率は、9月にかけて回復の傾向が見られたものの、総じて前四半期に続き低調。この結果、国内FX取引高全体は、前四半期比約5%の増加にとどまることに。



取引顧客数の推移

Money Partners Group

FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移



前四半期に続き外国為替相場の変動率は低調に推移したものの、スプレッド縮小等の顧客取引促進施策の効果もあり、FX取引顧客数は回復基調を維持。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2016/3期		2017/3期				2018/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~3月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,342	1,661	1,680	1,479	1,488	1,392	1,407	1,433	1.8%
受入手数料	14	19	17	27	21	26	28	21	▲23.7%
トレーディング損益	1,306	1,617	1,639	1,372	1,397	1,323	1,270	1,362	7.2%
金融収益	3	4	2	4	4	9	12	18	48.3%
その他の売上高	18	19	21	75	65	32	95	30	▲68.1%
金融費用	23	27	36	36	36	38	45	44	▲1.0%
売上原価	10	8	7	53	44	15	79	14	▲81.8%
純営業収益	1,308	1,624	1,637	1,388	1,407	1,338	1,283	1,374	7.1%
販売費・一般管理費	1,049	1,209	1,201	1,142	1,139	1,115	1,176	1,169	▲0.6%
営業利益	258	415	435	246	267	222	106	204	91.8%
経常利益	260	418	437	245	278	237	115	215	86.7%
税金等調整前四半期純利益	261	406	437	245	265	230	115	215	86.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	173	263	299	161	178	155	74	143	93.4%
営業収益経常利益率	19.4%	25.2%	26.0%	16.6%	18.7%	17.0%	8.2%	15.0%	

トレーディング損益を中心に収益が持ち直し、営業収益・純営業収益とも前四半期を上回る水準に。費用が前四半期とほぼ横這いに抑えられたことから、増収が増益につながり経常利益・純利益とも回復。営業外収支・特別損益とも僅少な水準にとどまる。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2016/3期		2017/3期				2018/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	292	349	299	325	355	357	388	401	3.4%
人件費	239	257	252	266	253	256	241	236	▲2.0%
不動産関係費	165	181	170	176	164	161	159	164	2.6%
事務費	228	281	309	235	223	215	228	237	4.2%
減価償却費	89	99	98	93	93	101	113	93	▲17.0%
租税公課	23	30	33	30	36	10	22	23	2.3%
貸倒引当金繰入れ	▲0	▲0	0	▲0	—	—	—	—	—
その他	12	10	38	13	13	14	22	12	▲46.6%
販売費・一般管理費合計	1,049	1,209	1,201	1,142	1,139	1,115	1,176	1,169	▲0.6%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	106	105	106	122	160	154	170	153	▲9.6%
システム関連費用(※2)	318	385	396	335	327	316	316	339	7.3%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

取引関係費(増加) : 広告宣伝費減少の一方、FX取引高の大幅な増加に伴いカバー取引に伴う支払手数料が増加

事務費(増加) : システム保守費用の一時的増加等により増加

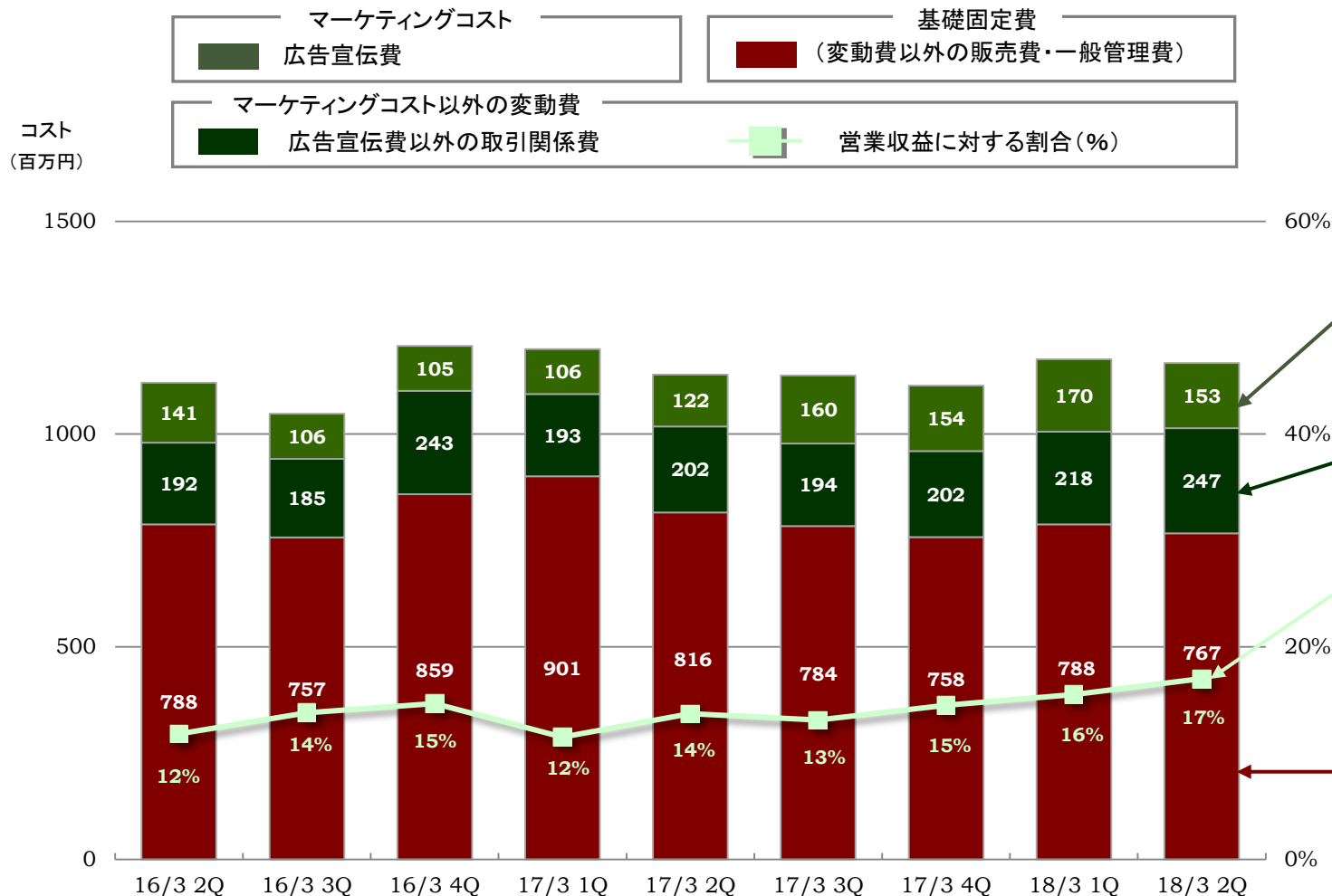
減価償却費(減少) : 現行基幹システムの一部償却完了等に伴い減少



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



マネパカードの新規獲得数増加のためブランディング活動を強化しており、2018/3期3Qは130～180百万円程度の水準を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、2018/3期3Q以降も概ね10%台後半の水準を見込んでおります。

2018/3期3Q以降も、概ね2017/3期と同程度の水準での推移を見込んでおります。但し、一部変動費的性格のものが含まれており、営業収益の増減により、基礎固定費にも増減が生じる可能性があります。

2018年3月期第2四半期は、スプレッド縮小に伴う取引高当たり収益率の低下に伴い、営業収益に対するマーケティングコスト以外の変動費の割合が若干増加。2018年3月期第3四半期以降も同様の水準が継続する見込み。



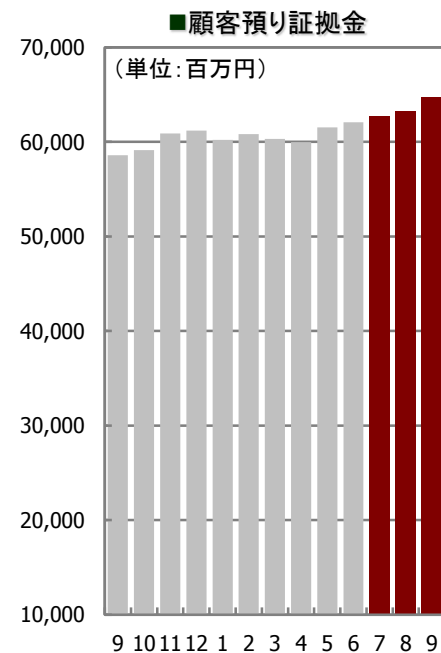
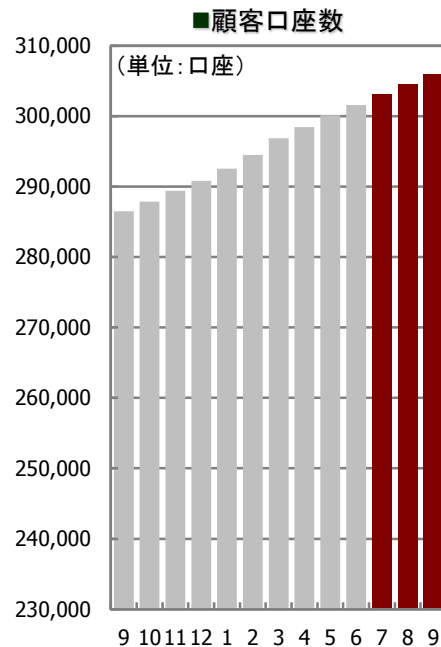
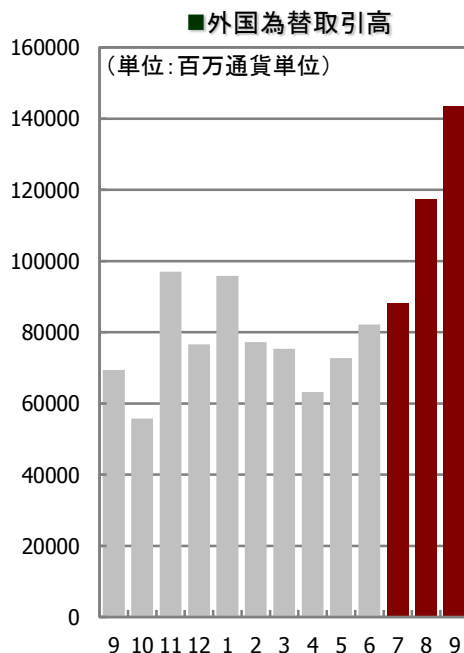
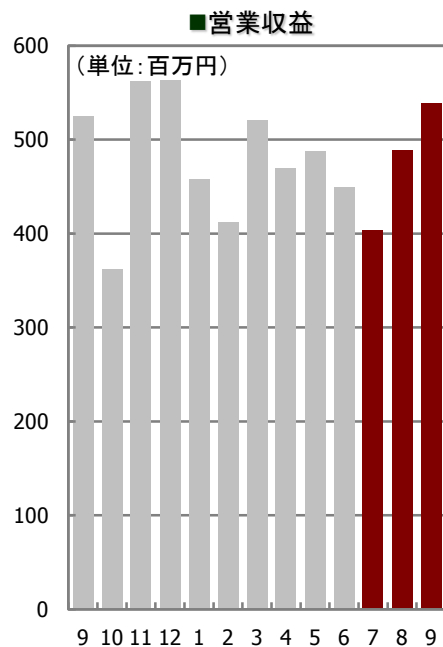
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2016年				2017年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	525	362	562	563	458	412	521	469	488	449	404	489	539
外国為替取引高 (百万通貨単位)	69,423	55,772	96,989	76,584	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437
顧客口座数(口座)	286,494	287,842	289,389	290,820	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001
顧客預り証拠金(百万円)	58,608	59,136	60,882	61,201	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734
内、BtoB先金融法人	9,562	10,148	11,423	12,000	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



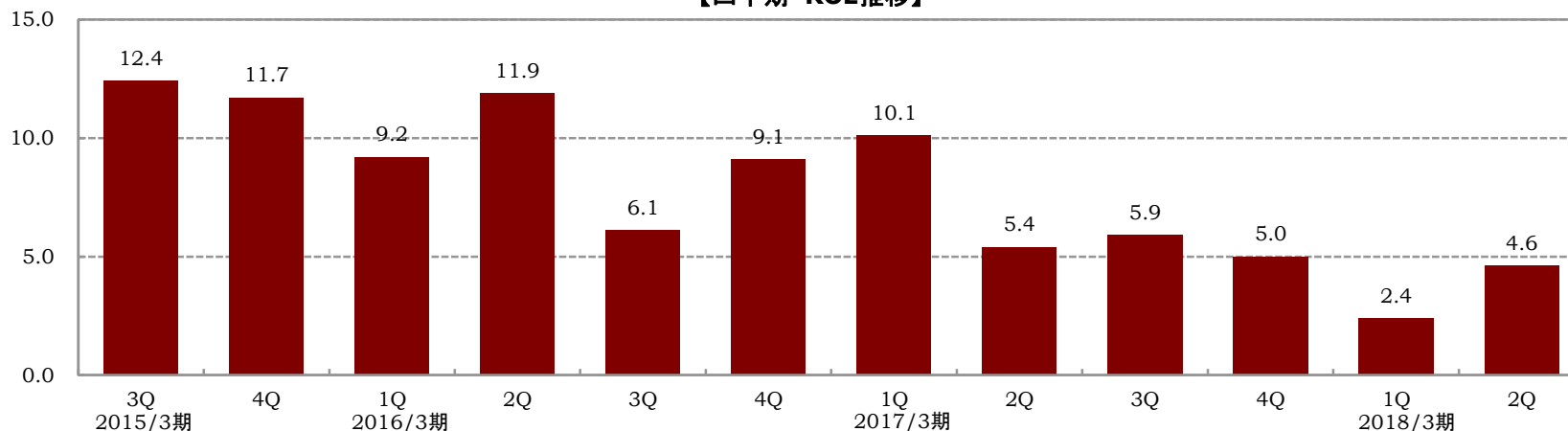


主要経営指標推移

Money Partners Group

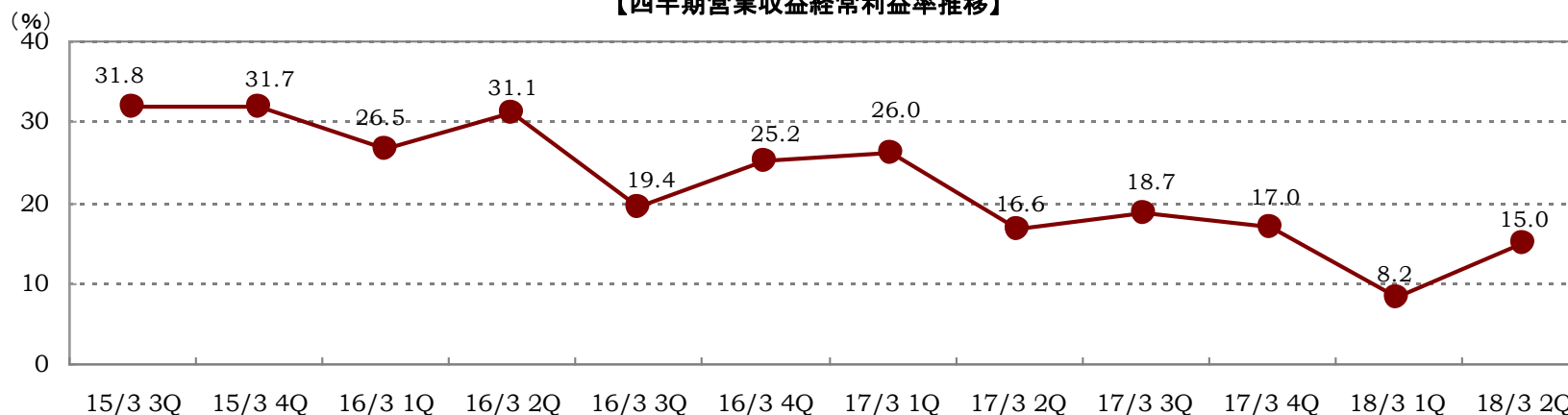
■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2018年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況





当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX

新通貨ペア取扱い開始 メキシコペソ/円

マネパの高金利通貨
—GOOD SPREAD—
応援宣言
—GOOD SWAP—

今注目の高金利通貨！
メキシコペソ/円 取扱い開始！

業界最狭水準
スプレッド(PFX)

業界最高水準の
スワップポイント！

0.5 銭 **12 円**

原定期定 ※例外あり
(コアタイム10:00~28:00)
※日本銀行・外貨両替店との取扱いに比べ、即日外貨決済で
円を配分するサービスが利用可能で、即日外貨決済で
円を配分することがあります。

2017年10月30日付与分

積極的なキャンペーンの実施

10th ANNIVERSARY

マネパ最大
史上最大の
大還元祭

他社からの乗り換えで
3,000円
プレゼント!!

マネパカード
キャンペーン期間で
100万円バック

カード縮小!!

0.6 → 0.4

EUR/JPY 1:0.6 TRY/JPY 1:1.9

原定期定 ※海外取引コアタイム18:00~28:00、トルコリラ/円のみ10:00~28:00

+5 通貨

マネパカード

10万口座突破

マス向け広告宣伝活動をはじめとする継続的な取り組みにより、2017年9月マネパカード口座が10万口座を突破。カード口座の増加ペースは、2017年3月末から9月末の半年で27,676口座とFX取引口座の約3倍。

Manepa Card マネパカード宣伝部

マネパカード申込み

樺坂 46 × マネパートナーズ
マネパカード 宣伝部

マネパカードは、クレジットカードではありません。
国内の普段づかいや海外旅行・留学にもおすすめのプリペイドカードです。



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

仮想通貨

仮想通貨交換業登録

9月29日付けで(株)マネーパートナーズは仮想通貨交換業の登録、また金融商品取引業者としてこれを行うための兼業の承認を受けました。

【全業者数：11】

所管	登録番号	登録年月日	仮想通貨交換業者名
関東財務局 【計9業者】	関東財務局長 第00001号	平成29年9月29日	株式会社マネーパートナーズ

金融庁「仮想通貨交換業者登録一覧」より抜粋記載

これを受け、仮想通貨交換業に関する最初の取組みとして、マネパカードと仮想通貨との連携サービスの開始に向け、準備を本格化してまいります。

(サービスの具体的内容や開始時期等については、決定次第お知らせしますが、現時点では来春の開始を想定しております。)

その他

個人投資家向け啓蒙活動

9月、当社代表取締役社長の奥山泰全と乃木坂46高山一実さんとの共著による「投資のメソッド」を出版。
「投機」でない「投資」の考え方を啓蒙。

お金が増え続ける
投資のメソッド
—アイドルのわたしでも。

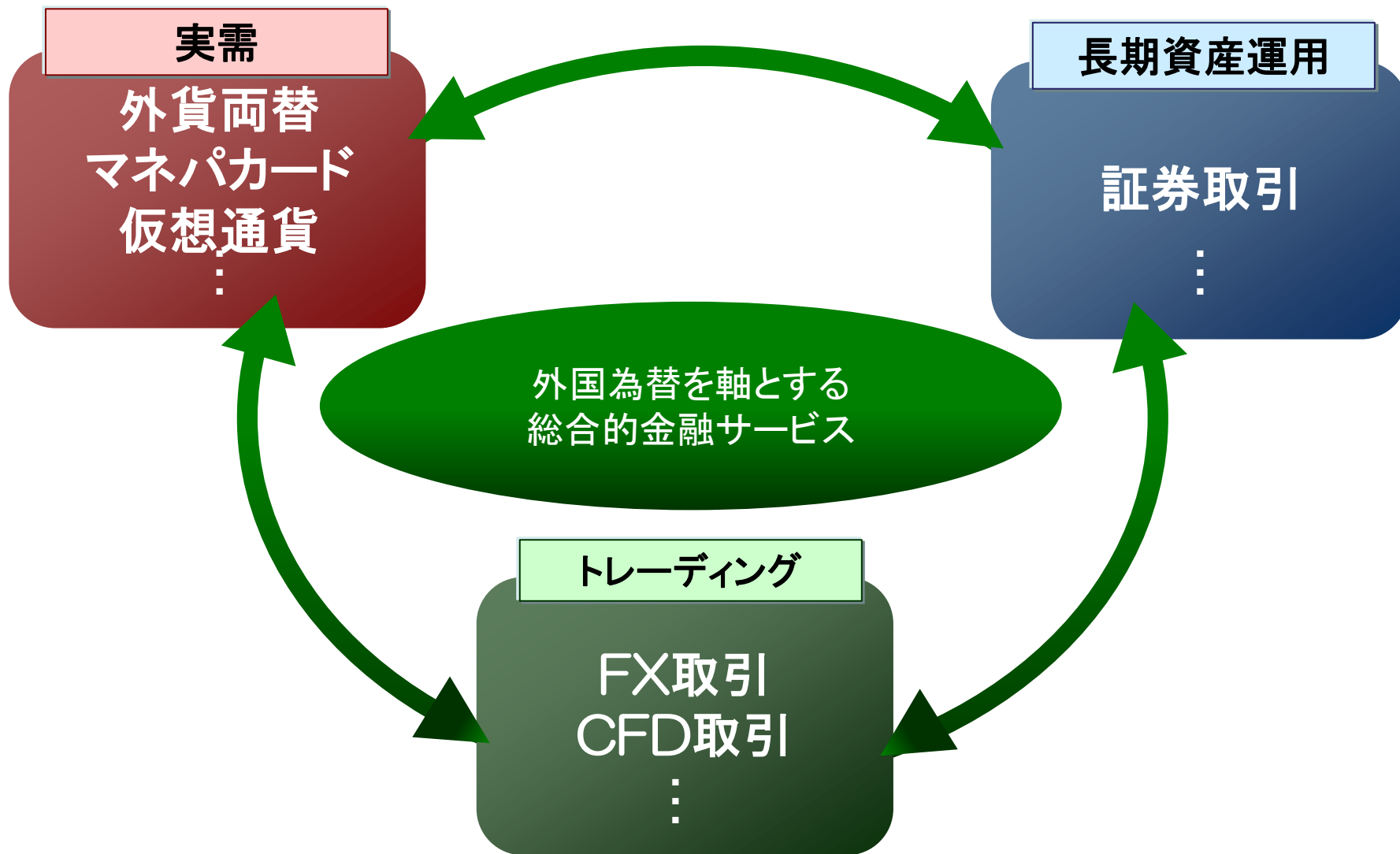
著者 高山一実 奥山泰全
定価 1,200円 (税別)
発売日 2017年9月7日
ページ数 192ページ
発売元 PHP 研究所

絶賛販売中!

COMMENT
四六時中変動するマーケットにかじりついている必要はありません。我々の目的は、いかにうまくお金に仕事をしてもらうかであり、お金儲けの亡者になることではないのですから。毎日歯磨きをするのと同じように、植物やペットの世話をするのと同じように、毎日少しの時間だけ投資に取り組み、自分の財産の世話をし続けていく。日常の中の当たり前の行動の一つとして投資を続けていく。そういう習慣が皆さんの身につけば、必ず皆さんの人生は、今以上に豊かなものになるでしょう。

Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ ●2018年3月期第2四半期(2017年7~9月)のROEは4.6%

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ ●2018年3月期第2四半期(2017年7~9月)の営業収益経常利益率は15.0%



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末** (年2回)

	2017年3月期				2018年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	299	161	178	155	74	143		
上段: 3ヶ月	299	460	639	794	74	218		
下段: 累計								
配当金の総額 (百万円)	130		130		81			
期末発行済 株式総数(株)	33,763,500 (内、自己株式1,202,300)		33,772,900 (内、自己株式1,202,300)		33,779,900 (内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	4.0円		4.0円		2.5円		
	年間	8.0円						



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、取引の額の4%の額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2018年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ